



南住吉小学校



(令和8年5月1日現在)

所在地	〒558-0041 住吉区南住吉3-5-1		
電話	06-6693-3941	FAX	06-6693-3672
URL	https://swa.city-osaka.ed.jp/e731667		
校長名	畠中 紹宏		
児童数	783名	教職員数	53名
学級数	34学級（うち特別支援学級10）	集団登下校	なし
標準服	なし		

教育目標

自他を大切に作る心、確かな学力、
健康な体を基盤とした
社会に貢献できる子を育成する。

めざす子ども像

- ①思いやりをもち、助け合える子
- ②自ら学び、最後までやりとげる子
- ③健康で、たくましい子
- ④目標に向かって、みんなで協力できる子

校長メッセージ

本校は住吉区のほぼ中央に位置し、区役所や図書館等が隣接していることもあり、教育環境に恵まれた学校です。今年で創立69年目を迎えます。保護者が本校の卒業生という家庭も多く、地域学習や登下校の見守り活動などで、地域の学校として皆様より多くのご支援を賜りながら日々の教育活動に取り組んでいます。

児童数は783名(令和8年5月現在)と大規模な学校です。「正しく・やさしく・みんなのために」を校訓とし、令和6年度から、「『ことば』を大切にし、うれしくなる『ことば』があふれる学校」をめざして、保護者・地域・教職員が協力しながら、その実現に向けた教育活動を推進しています。このような環境の中で、将来に向け、学力の定着をはかり、個性を尊重し合い、いじめを許さない集団を育成し、健康でたくましく生きる力を持った子どもを育てます。

学校協議会会長メッセージ

南住吉小学校区では、地域住民の皆さんが、毎年夏に子どもたちが楽しみにしている「南住吉えーまちフェスタ」などの地域行事等を開催し、地域と保護者と学校が協力しながら子どもたちの健全育成に取り組んでいます。また、PTA主催「南住吉カーニバル」にも参加し協力いただいています。さらに、平成17年に、当時の児童が命名してくれた「パトレンジャー」と呼ばれる、子ども見守り隊を結成しています。地域住民の皆さんが、毎日の子どもたちの登下校の安全を守る活動を現在も続けてきています。

学校協議会では、学校の取り組みについて説明いただく中で、地域や保護者の願いもお伝えしながら、南住吉小学校の子どもたちのためになる、よりよい学校運営に向けて協議を進めております。今後とも、子どもたちのために、地域、保護者、学校が協力できますようにご支援ください。

▶▶ 運営に関する計画

年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82.0%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70.0%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82.0%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切を認めることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を79.0%以上にする

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語のボリュームゾーンにあたる層の変化率を前年度より1.5ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数のボリュームゾーンにあたる層の変化率を前年度より1.5ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80.1%以上にする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より0.02ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を76.0%以上にする。
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月23時間以下とする。
- 小学校学力経年調査における「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれぐらいの時間、読書を読みますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）。」に対して、「読書を読まない」と回答する児童の割合を28.0%以下にする。

きめ細やかな学習指導



1人1台端末をいかして学びの充実を図っていく。デジタル教材の活用や心の天気の利用を通して児童の学習面だけではなく心の状況把握にも努めていく。様々な場面でICTの活用の充実意を図れるよう努めていきたい。また、高学年の体育科に専科教員を置き、児童の運動能力や体力の向上と運動への興味関心を高められるよう取り組んでいる。さらに、学校図書館には、週4日司書が在室し、貸し出しやレファレンス、読み聞かせなどを行い、本に親しむ環境づくりに努めている。

教職員の向上



南住吉小学校では、先生たちの指導力を高めるために、校内研修や勉強会への参加など、日々研鑽を積んでいます。

令和7年度は「がんばる先生支援事業」に取り組み、国語の授業を中心に「聴く力」と「考える力」を育て、自分の意見をしっかりと伝えられる子どもたちの育成を目指しました。研究授業や実践報告を通じ、読み取る力や表現する力を高める工夫を重ねてきました。

今年もこの成果を活かし、子どもたち一人ひとりが「わかった!」「できた!」という達成感を持てるような、質の高い授業づくりに努めてまいります。

▶▶ 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状（調査対象：令和7年度の小学6年生）

【平均正答率（%）】

国語	算数	理科
57	47	42

国語科・算数科・理科とも平均正答率で全国の平均値ならびに大阪市の平均値を下回る結果となった。特に対全国比で、国語科については8ポイント、算数は11ポイント、理科は13ポイント、を超える差があり、課題がある結果となった。また、全国平均無答率については、国語科は全国値と同じであったが、算数科・理科とも全国値を上回る結果となった。

▶▶ 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果（調査対象：令和7年度の小学5年生）

【種目別平均値】

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点(点)
男子	16.90	17.53	33.75	34.92	40.12	9.39	152.50	22.54	50.27
女子	14.95	15.80	36.26	33.40	30.38	9.80	138.91	11.94	49.48

男子は握力・50m走・立ち幅跳びの3種目において全国平均を上回っており、瞬発力や基礎的な筋力の面で強みが見られた。女子においては、50m走で大阪市平均を上回っており、走力において一定の成果が見られる。一方で、それ以外の種目については男女ともに全国平均を下回っており、体力を総合的に見ると課題が残る結果となった。

実際に「体力合計点」は男女ともに全国平均を約2点下回っており、特定の種目での強みはあるものの、全体的な体力の底上げが必要であることがうかがえる。

また、「運動やスポーツをすることは好きですか」という質問に対しては、男子90%、女子77.1%が肯定的に回答しており、運動への意欲は比較的高い。しかしながら、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子15.2%、女子19.6%と、いずれも全国平均を大きく上回っている。

【P75に全国・大阪市平均を掲載。ご参照ください。】